

2024年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

筆記試験 日本思想史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

2024年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

筆記試験 (日本思想史

専攻分野)

Ⅰ、今後研究しようとするテーマについて、次の二点を記しなさい。(各二〇行程度)

- (1) 今後の研究計画
- (2) 研究の意義と目的

Ⅱ、次の史料を読んで、以下の問いに答えなさい。

- (1) 傍線部(ア)「大清天竺マテモ残ラズ我が日本ノ神徳王化ニ服シテ、日本へ朝貢スル様ニナル時節モアルベキコト疑ナシ。」と芦東山が考える理由を、説明しなさい(五行程度)
- (2) 芦東山の「神道」観を、「唯一」「両部」の考え方と対比させながら、解説しなさい。(一〇行程度)
- (3) 史料から読み取れる芦東山の考えについて、日本思想史的な観点から、自由に論じなさい。(一〇行程度)

本朝近世ノ神学、唯一両部ノ辨論、最モ理ノナレドモ、一向ニ此説ヲ主張シ、偏陋固浅ナルハ、亦神道ノ本真ニ非ルコトモ多シ。日本ノ神道モ、孔子大易象伝ニ於テ、聖人以神道而設教而天下服スト仰セ置レタル神道ト一理ニシテ、ニツアルニ非ズ。凡ソ天ノ覆フ所、地ノ載ル所、四海万国、其日只一輪ニシテ、両輪ノ日ナケレバ、日本ノ日、漢唐ノ日、ニツアルナシ。然レバ日本ノ神道、異国ノ神道トテニツノ神道ナク、何方ニテモ神道ハ唯一理ノ神道ニテ、「…」異国ノ道トテ、ソレヲ棄テ去ルモノ、一天一日ナルコトヲ知ラズ。日本ノ天、日本ノ日、異国ノ天、異国ノ日トニツニ切り分テ別段ナルモノトナシ、却テ両部ノ偏見トナリ、唯一ノ大道ニ非ズ。我が日本ノ太祖神武天皇、六合ヲ兼ネ八紘ヲ掩フ(神武紀ニ出ツ)思召ニテハ、漢唐ノ地モ天竺ノ地モ、凡ソ天ノ覆フ所、地ノ載ル所、日月ノ照ラス所、霜露ノ墮ル所、皆兼ネ掩テ、神祖ノ思召ニテハ、只日本バカリヲ御宇トナシ給フ、セマキ思召ニ非ズ。然レバ日本ノ西、日本ノ外ニ出生スル孔孟程朱ノ如ナル聖賢、即日本出生ノ人同然ニ思召シ、其大中至正ノ言論ヲ取用テ、日本ヲ治ル神道ノ要学トナシ給ヒ、外国ノ道トテ之ヲ外ナルモノトナシ給フベキコトニ非ザル品品、論ズルニ及バズ。右ノ如クナル至広至大至明至正ノ思召ニテハ、(ア)大清天竺マテモ残ラズ我が日本ノ神徳王化ニ服シテ、日本へ朝貢スル様ニナル時節モアルベキコト疑ナシ。コレ孔子ノ春秋、朱子ノ綱目ヲ以テ、我神国帝王聖学ノ要トナシ給フベキコトヲ論ズル、区区惓惓ノ愚衷ナリ。

宝暦十年庚辰正月二十一日丁卯栗原松叟徳林書于玩易斎中

(芦東山『玩易斎遺稿』を一部改変)

受験記号番号

 $\frac{2}{6}$

受験記号番号

$$\frac{3}{6}$$

受験記号番号

$$\frac{4}{6}$$

受験記号番号

$$\frac{5}{6}$$

受験記号番号

$$\frac{b}{b}$$